

令和元年8月30日



9月 釜小だよ

横浜市立釜利谷小学校

釜小Web <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariya/>

備えあれば嬉しいな

副校長 鈴木 勝之

「備えあれば憂いなし」とは「普段から十分な準備をしておけば、いざというときにも何も心配がないということ」を意味する故事成語です。夏休みに入った7月末、副校長として防火管理者の講習を受けたとき、講義の内容からこの言葉が浮かびました。これは、マイナスを回避するという意味ではなく、プラスに働くという意味で捉えることができます。つまり、しっかりと準備をしておくことで、よい結果が得られるという意味です。

学校現場で働く我々にとっても、この言葉があてはまるのがたくさんあります。机上整理、使ったものは所定の位置に戻すことなど、これらは仕事の効率化を生み、成果や目標の実現という形で返ってくるものです。日常の安全管理もこれにあてはまりますし、子どもたちにとって大切な授業の準備もその最たるものです。では、子どもたちにとっての備えとは、どのようなことになるのでしょうか。

その一つとしてとても大切なのが、来年度から完全実施となる新学習指導要領で求められている資質・能力を身に付けていくことです。釜利谷小学校でも力を入れているコミュニケーション能力は、比較的よく耳にすることかもしれません。他にも、人とよりよくかかわる姿勢、他者に対する寛容な態度、知識や技能を習得して目的に応じて活用する力、自他のよさや自分自身が今もっている力に気付いたり振り返ったりすること等々、多くの力が求められています。これらは、子どもたちが歩み出していく十数年後の社会において重要だと考えられているもので、将来に向けての備えといってよいものですし、日常生活においても同じように考えられます。つまり、これらの資質・能力を身に付けて（備えて）おけば、よりよい日々を過ごしていける（憂いなし）と考えられるわけです。

釜利谷小学校の子どもたちは、今後求められる資質・能力を身に付け伸ばしていくための素地である明るさ、素直さ、人懐っこさをもっています。また、それらを支える保護者・地域の方々のお力添えもいただいております。学校としても、子どもたちが今もっている力をより一層伸ばしていけるようにするために、子どもたちが夢や目標を実現できるようにするために、しっかりと備えていきたいと思っております。早いもので夏休みも終わり、一つの節目からの新たなスタートとなります。前期のまとめ、さらに後期前半には、運動会やフェスティバルなどの大きな行事もあります。「備えあれば嬉しいな」と、みんなが笑顔で日々の学校生活を送ることができるようにしていきたいと思っております。ご理解ご協力をお願いいたします。